



よこはま
支部だより
第61号
2014年 夏

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部

THE YOKOHAMA BRANCH, KANAGAWA PREFECTURE SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

第21回横浜支部 総会報告	P1
第21回横浜支部 総会報告	P2
第21回横浜支部 総会記念講演会	P3
研修旅行 「神戸」	P4
同好会だより ～ワイン・絵画～	P5
同好会だより ～テニス～	P6
委員会だより 総務委員 技術情報委員会 厚生委員会委員会	P7
横浜市建築局からのお知らせ 賛助会の紹介 広報委員会だより	P8

第21回横浜支部総会+記念講演会が開催されました

「平成26年度第21回通常総会」議事録

日時 平成26年5月17日(土) 14時00分～

会場 横浜情報文化センター

出席者数 44名 委任状 249名 合計 293名

司会 長井 邦夫

◇開会◇

I 支部長挨拶 山成 芳直

II 議長選出 議長 山成 芳直

III 議事

1 平成25年度 活動報告

技術情報委員会 報告者 田中 克樹

厚生委員会 報告者 菊嶋 秀生

広報委員会 報告者 玉野 直美

総務委員会 報告者 長井 邦夫

2 平成25年度 収支決算報告・監査報告

収支決算報告 報告者 渡邊 一郎

監査報告 報告者 金子 修司

3 平成26年度 活動計画案

技術情報委員会 報告者 田中 克樹

厚生委員会 報告者 菊嶋 秀生

広報委員会 報告者 玉野 直美

総務委員会 報告者 長井 邦夫

4 平成26年度収支予算案 提案者 渡邊 一郎

5 役員改選案 提案者 長井 邦夫



上記1～5まで一括質疑応答・・・

質疑：予算案の予備費(交際費¥30,000)の計上がされていない。

応答：繰越金を¥30,000減額して¥1,264,925とします。

質疑：単年度の予算が赤字となりますので、検討をお願いします。

応答：赤字とならないよう努力します。

議長より、引き続き、支部活動への協力をお願いした。

その他

・来賓紹介(以下敬称略)

横浜市建築局長 坂和 伸賢、横浜市建築士事務所協会 副理事長 内山 勝麗

建築士会副会長 長田 喜樹建築士会相談役 藤田 武

・来賓挨拶 横浜市建築局長 坂和 伸賢

第2部

講演会：テーマ「近代神奈川の建築と都市」講師：関東学院大学名誉教授 星野芳久氏

参加者：116名

司会 下村 旭

15時15分～16時55分

第3部 懇親会 会場：ランチャンアベニュー

17時10分～18時40分

司会 高橋 伸廣 参加者：56名(来賓・招待者4名含む)挨拶 山成 芳直

乾杯 星賛助会代表 中締め 菊嶋 秀生 以上



書記 菊嶋 秀生

第2部 講演会

『近代神奈川の建築と都市』

激変した近代の建築物と建築家を後世に伝えたい

内藤 能里子



平成26年5月17日(土)に総会記念講演会が、横浜情報文化センターで行われました。

創立60周年を記念して刊行した『図説 近代神奈川の建築と都市』は、本会建築史図説編纂特別委員会が「幕末・明治前期～戦時期の建築物や建築家を後世に伝えたい」という思いから作られた本で、会の委員長星野芳久氏にご講演いただきました。建築、都市計画など写真や地図とともにお話を伺い、時代の流れと共に激変した建築物、都市環境について、とても興味深いお話を聞くことができました。

1. 日本の開国と横浜の開港

開国で日本は、函館・新潟・横浜・神戸・長崎の5大都市を開港し外国文化受け入れの場所としました。本当は、江戸に近く比較的栄えていた神奈川湊を港として考えていましたが、幕府の水際外交で無理やり横浜村に港を造り今の横浜が出来ました。そのため、横浜には「オランダ総領事館」を始め、アメリカ人建築家ブリジェンスの設計した「イギリス公使館」、新橋に復元されている「横浜停車場」などとても洒落た洋風建築が建てられました。この頃はまだ、日本人建築家の活躍は見られなかったそうです。



2. 洋風建築の成熟

明治後期に入り、「横浜ユナイテッドクラブ（設計：コンドル）」や「旧横正金銀行（設計：妻木頼黄）」、「スタンダード石油横浜支店（設計：下田菊太郎）」など、成熟した西洋建築が建てられると共に日本人建築家が活躍するようになりました。

一方、市街地の都市衛生は劣悪で、コレラ、結核などで亡くなる人も多くいました。そこで、横浜市では都市環境を改善、悪化することを予防するために大正8年（1919年）に都市計画、建築指導が出来ました。イギリスでは世界初となる都市計画法が1910年に作られたそうで、引けを取らない速さで横浜が発展していたことが見られます。



3. 震災復興～戦時期

大正12年（1923年）相模湾を震源地としたM7.9の巨大地震により、横浜は甚大な被害を受けました。ただし、しっかりと耐震設計されていた「開港記念横浜会館」は、内部が丸焼けになりながらろうじて残存しました。現在は横浜開港記念会館として利用されています。その後、「横浜商工奨励館」、「横浜地方裁判所」、「ホテルニューグランド」などが建てられました。90年ほど前に建てられ現役で活躍している建物を見ると、歴史を感じると共に力強さを感じます。

また、郊外に住宅地を作り（用地分け・建築条件）が課せられた街作りが出来ていきます。日吉、大船で田園都市の計画が進んでいく中、戦争に突き進んでいく日本は焼夷弾で市街地が全焼しないための干渉空地や疎開道路などを整備していきました。根岸道路や滝頭道路はその時整備されました。

横浜は激動の時代にでき、発展し続けてきました。緑豊かで魅力ある街並みと歴史ある建築物が残っていくような平和な世の中であり続けたいと感じました。



研修旅行 技術情報委員会

「神戸歴史的建造物・街並みを巡る旅」

＜歴史地区と阪神・淡路大震災後18年目の神戸・淡路島を訪ねる＞

日程：2014年2月13日（木）～15日（土）

横浜支部 技術・情報委員会 活動報告

報告者：林真理子

京都・奈良に引き続き、2013年度は三都物語の最終地として「神戸」の研修旅行を企画し、無事に実施することができました。それは花方会長・山成支部長及び長井総務委員長をはじめとする関係者皆様のご尽力と参加頂いた方々の熱い声援とご協力のお蔭だと思えます。参加者18名（申込者19名 内キャンセル1名）

また、充実した計画と研修・見学までのご準備をして下さった兵庫県建築士会、ヘリテージマネージャーの皆様方へお礼申し上げます。今回の研修旅行も技術・情報委員会が掲げる「他団体との交流」活動の実績がまた一つ増えたものごと報告致します。

13日午後、新神戸の宿泊地にて兵庫県建築士会の方々と合流。その後、「旧居留地周辺・新港地区」視察及び「北野町山本通伝建地区周辺」視察の2グループに分かれて研修を行いました。（報告者は、後者グループに参加）



左2枚の写真は、おなじみの異人館、風見鶏の館。クラシック家具とその配置

等から当時の暮らしが再現されていました。右の3枚の写真は、萌黄の館。このコロニアル様式の設計は、A.N.ハンセン氏。当時は、アメリカ領事官邸。マントルピースのデザインが見事でした。庭には、19年前の震災で折れた煙突がありました。



左の写真は、ジャイナ教の寺院。左から2枚目は、関西ユダヤ教シナゴグ（集会場）。右の2枚

は、神戸ムスリムモスク。街を散策する中で、多くの宗教寺院に出会えるところは、同じ港町でも横浜とは少し違うところです。その後、ブラジルへの移民の橋渡しをした「海外移住と文化の交流センター」を視察。夜は総務委員会主催の懇親会として、兵庫県建築士会の方々と交流。そこでの話は尽きず、さらに神戸の街を堪能された方々も多くいらしたようです。

写真、下部左2枚は、相樂園。右2枚は、人と防災センター。

14日は、朝から雪。道路事情で、淡路島での予定はやむなく中止。今回のもう1つのテーマでもあったので残念でした。機転を利かせての雪の相樂園では、旧ハッサム住宅、浣心亭（茶室）、そして現在ここでしかない船屋形の見学は大満足でした。



そして、「人と防災未来センター」の見学を終えたころには 雪は雨に変わっていました。報告者は、その後、帰途につきましたが、参加者の方々は、神戸牛に下鼓を打

つ方あり、各々に楽しまれたようです。

15日は、有志によって、淡路島の見学を終えたと報告を受けました。

今回も良い研修旅行になりました。会員の皆様のご意見を頂きつつ次の企画も検討したいと思います。

同好会だより 皆様のご参加をお待ちしております！

ワイン同好会



月出 正弘

3月28日(金)に山手十番館別館にて、「第36回ワイン同好会」が開催されました。会場までの道程、咲き始めた桜の花がとても美しく、今宵の美酒への期待をより一層高める媚薬となりました。公園の芝生の上での花見の宴でワインを楽しむ方々も多いですが、やはり、風格ある会場の佇まいは、心に歓喜を与えられます。

さて今回、2種のシャンパンが用意されており、一つは昨年4月の英国ウィリアム王子の結婚式後の晩餐会で招待客に振舞われたものとのこと、飲めば、気分は英国紳士に。もう一つは創立以来180年の老舗蔵のロゼで、その桜色は正に時機到来、目にも芳醇な果実模様が映り込みました。続いての白ワイン(プイイ・フェイッセアリアンス・ヴェルジッソン'10)がこれまた色鮮やかで高揚させられ、舌に喉にキレの良い繊細な刺激を受けました。次の白ワイン(ピノ・グリ'11)は、味わいが深く、良い意味で少しくせがありました。

ここまでが前半ですが、美味しいビッフェ料理をたらふく食べ、胃が活性化し、血液が集中したため、記憶中枢機能が低下してしまったので、この後の赤ワインの感想は、紙面の都合もあり簡潔にすると、2杯頂いた赤ワイン(CH・ペデスクロー'08)を「ベストオブ桜と赤ワイン」として称賛致しました。



絵画同好会

高橋 伸廣

～2013年11月23日(土) かながわ労働プラザにて、裸婦デッサン会を開催～
絵画同好会、恒例の裸婦デッサン会です。デッサン中は、裸婦モデルに合わせて、室温を30度以上に上げます、我々にとっては暑いくらいです。
デッサンが終わるころには、集中力も重なりじっとり汗ばんできますが、その後の忘年会(元町の和食店)でのビールが又格別です。



高橋 伸廣会員の作品



石田 明代会員の作品



テニス同好会



平成25年11月9日(土) PM3:00~7:00

金沢産業振興センター A・B面 参加16名

今までの最高と思われる16名の参加者があり、とても賑やかでした。少し肌寒いくらいでしたが、ゲームはとても盛り上がり、4時間の定例会もあっという間に終了でした。



平成25年12月14日(土)

PM3:00~7:00

金沢産業振興センターA・B面



平成26年1月11日(土)

PM3:00~7:00

金沢産業振興センターA・B面 参加8名

今年初めての定例会はとても寒さの厳しい天候でしたが、ゲーム中心に盛り上がりました。定例会後は新年会にくりだしました。



新年会 新杉田の焼き鳥

屋にて 参加10名

議題：今年のテニス同好会抱負と200回記念に向けてについて



平成26年2月22日(土)

PM3:00~5:00(A・B面) PM5:00~7:00(B面) 金沢産業振興センター参加6名4時間の定例会でしたが、そんなに寒くなかったのでテニスにはちょうど良い気候で、ゲームはとも盛り上がりました。



200回記念テニス大会、記念式典開催!

開催日：平成26年3月8日(土)

場 所：横浜市金沢産業振興センターコート、レストラン「メルヘン」参加者20名

横浜支部 テニス同好会・練習会200回記念について思う

同好会会長 内山 勝 麗

横浜支部テニス同好会はH7.11.3にスタートし、11年後のH18.2.18に練習会100回を迎え、記念パーティーを磯子プリンスで開催。その8年後に200回の記念パーティーをH26.3.8金沢産業振興センターのレストラン「メルヘン」にて開催された。通算19年間続いているこの同好会には歴史があり、深いつながりがあると感じます。継続は力なり、といいますが、テニスだけではなく他の面でも複雑な世の中では人との繋がりが大切だと思います。お互いテニスを通して、助け合う精神こそが 人の道 だと思います。テニスのダブルスはお互いのペアの力を十分に出して相手と競うゲームです。相手のことを思ってペアを組み対戦相手の弱点を読みそこへボールを打つ。意にはまった時の快感を覚えるとテニスに、はまってしまうスポーツです。スポーツは予防医学との自分の持論から、スポーツを継続することは精神的にも、肉体的にも若さを保つ秘訣だと思います。継続は若さなりですね。幹事さんたいへん有難う御座いました。これからも300回に向けて楽しみましょう。



テニス大会優勝
廿日出、鈴木ペア

準優勝
内山、竹中ペア

今回のテニス大会と
懇親会で大活躍の
奥津さん



同好会会員募集中!

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡下さい。

定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。

ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

連絡先：玉野 045-894-8452 FAX893-6614

お知らせ 委員会だより

総務委員会

5月17日土曜日に第21回通常総会および記念講演会を無事に終えることができました。

次は美術館見学会開催に向けて準備をしております。

美術館見学会では通常では入ることのできないバックヤードの見学や、建物設計時の貴重なお話を設計関係者や学芸員の方から直接伺える、またと無い機会ですので、是非ご参加ください。

開催時期は季節の良い秋、または春を予定しております。

総務委員長 長井 邦夫

技術・情報委員会

当委員会は昨年度になりますが、神戸研修旅行を（H26年2月13日～15日）開催し、19名の申し込みを受け、内キャンセル1名、総勢18名にて遂行することができました。

この書面をお借りして御礼申し上げます。

今年度の活動は現在 建築家コルビジエを取り上げ専門の学芸員による講演会を計画中です。

建築に関わる士会の皆様方には周知された建築家と思われませんが現代建築にまだまだそのデザイン手法は生かされ続けていると思われれます。新ためてその原点を学ぶことは大いに意義深いものが或るものと思いますので、ご関心或る方は是非とも当委員会の今後の広報に注視していただきながら士会会員及び学生、会員外へと広くご参加を呼びかけたいと考えております。

講演テーマ：協議・検討中

講師：ギャラリー・タイセイ 林 美佐学芸員

開催時期：秋季

開催場所：関内周辺

技術情報委員長 田中 克樹

厚生委員会

夏の納涼会のご案内

今年も恒例の「建築士会横浜支部 夏の納涼会」を開催いたします。

昨年の納涼会は、馬車道にある横浜地ビールのお店「既の食卓」で開催されました。

39名が参加され、手作りビールの飲み放題にて様々な種類のビールを飲み比べました。各自が存分にビールを堪能し、会話が弾む楽しい時間を過ごしました。

さて、今年の夏の納涼会は8月29日（金）に開催致します。おいしいお酒と食べ物で楽しいひと時を過ごしたいと思いますので、みなさまふるってご参加ください。尚、詳細につきましては後日お知らせ致します。



厚生委員長 高橋 伸廣

横浜市建築局からのお知らせ



<建築基準法の一部改正について>

平成26年3月7日に「建築基準法の一部改正」について閣議決定がされ、ただ今、国会で審議中です。改正案の主な内容は、

- ① 3階建ての学校等について、木造等の利用を促進するため、準耐火構造とすることができること、
- ② エレベーター等の昇降機について、容積不算入とすることができること、
- ③ 建築主が、構造適判機関等へ直接申請できること、
- ④ 新建築材料や新技術に対応できる、旧38条認定制度が復活すること、などです。

概要は国土交通省のホームページでご確認いただくと共に、建築基準法の一部改正が公布された場合は、必要に応じて本市の建築関連条例や取扱の見直し等が考えられます。今後の動向にご注意ください。

(参考：閣議決定 国交省 報道発表HP)

http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000467.html

(連絡先：建築局建築情報課 建築企画担当:045-671-2933)

<横浜市福祉のまちづくり条例改正に伴う新たな整備基準の適用について>

平成24年12月28日に「横浜市福祉のまちづくり条例」が全部改正され、それに伴い平成26年1月1日以降に着手する工事から改正後の整備基準が適用されています。改正された「横浜市福祉のまちづくり条例及び同施行規則」と、建築物に関するバリアフリーの規定をわかりやすく示した『施設整備マニュアル』（建築物編）が公開されていますので、設計する際にご活用いただくようご案内いたします。

なお、「横浜市福祉のまちづくり条例」の全部改正に伴う「同条例施行規則」の一部改定（平成25年7月25日）のポイントは以下のとおりです。

- ① 建築物全般の整備基準の見直し
- ② 子育て世代に配慮した整備の規定の追加
- ③ 共同住宅の整備基準の見直し
- ④ 福祉のまちづくり条例の用途の区分等をバリアフリー法と整合
- ⑤ 「指定施設整備基準」の適用対象の見直し

『施設整備マニュアル』（建築物編）は平成26年4月1日から市庁舎1階市民情報センター内の刊行物サービスコーナーで販売を開始しています。（販売価格：1,080円） また、建築局建築環境課のホームページでも公開しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/shidou/kankyo/fukumat1.html>

(連絡先：建築局建築環境課 建築環境係:045-671-4526)

横浜支部賛助会一覧（敬称略）

㈱渡辺組 総合建設業 (代)渡邊一郎

東京ガス㈱神奈川都市エネルギー部 (代)樺山豊久

不二物産㈱ 金属建具加工販売 (代)斎田徳次郎

横浜エレベータ㈱ エレベーター販売 (代)勝 治雄

㈱カンディハウスヨコハマ 家具製造販売 (代)藤田哲也

㈱キクシマ 総合建設業 (代) 菊嶋秀生

㈱ヒライデ 印刷業 (代)平出伸二

㈱星 木材銘木販売 (代)星雅巳

ヤマト建設 総合建設業 (代)小林清一 順不同

広報委員会だより

◆広報委員会からのお願い◆

広報委員会では 活動して頂けるメンバーを募集しています。

内容は、「支部便り」のデータ管理 です。今回は支部便り作成業務は入っていません。

打合せは各号1回（年2回）（その他横浜支部全体での合同委員会が年4回）

士会事務局（工藤）までご連絡下さい。詳細は追ってご連絡致します。

広報委員長 落合博

★広報委員★

落合博・玉野直美・丸山幸一・雨森隆子・吉原直美・宮田欣哉・加藤高明・
高橋秀行・安東眞記子・鈴木洋子（順不同）

編集 広報委員会 発行 一般社団法人神奈川県建築士会 横浜支部

231-0011 神奈川県横浜市中区太田町2丁目22 神奈川県建設会館 5F

TEL：045-201-1284 FAX：045-201-0784 <http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/>